
エコアクション21

2016年度 環境活動レポート

2016年4月～2017年3月



2017年6月30日 作成

 **集塵装置株式会社**
DUST COLLECTOR CO.,LTD.


エコアクション21
認証番号0009688

目次

1. 環境方針	3
2. 事業活動の概要	4
3. 環境目標及び環境活動の内容	5～7
4. 環境負担の実績及び環境活動取組評価	8
5. 2017年度取組み内容	9
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1.環境方針

基本理念

集塵装置株式会社は、“製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に掲げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進していきます。

- 1 省エネ・省資源型装置販売の開発・改良・提案・販売に努めます
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます
- 4 廃棄物の排出抑制に努めます
- 5 グリーン購入の推進に努めます
- 6 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

2017年
集塵装置株式会社
代表取締役社長 丸山宏樹

2.事業活動の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

代表取締役社長 丸山 宏樹

(2)所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 丸山 宏樹

エコアクション21担当者 総務部 杉中 優美 渋谷 佳代

連絡先 電話 03-3938-3711 FAX 03-3938-3716

(4)事業内容

集塵装置、公害防止装置の設計・製造・販売・保守

建設業許可番号 東京都知事許可(特-22) 第29193号

東京都知事許可(般-22) 第29193号

古物商許可番号 東京都公安委員会許可 第305591208074号

(5)事業の規模

平成28年度売上高 5億円

従業員数 25名

資本金 70,000,000円

3.環境目標及び環境活動の内容

(1)環境負荷削減目標数値

項目	単位	2011年度実績 (基準値)	2016年度目標		2016年度実績		2017年度目標		2018年度目標	
		2011/4~2012/3	2016/4~2017/3		2016/4~2017/3		2017/4~2018/3		2018/4~2019/3	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	85,863	基準値比	-19.06%	基準値比	-11.45%	基準値比	-19.64%	基準値比	-20.22%
			69,500		76,030		69,000		68,500	
電気使用量	kWh	76,293	基準値比	-20.05%	基準値比	-19.55%	基準値比	-21.36%	基準値比	-22.01%
			61,000		61,377		60,000		59,500	
ガソリン使用量	ℓ	15,783.3	基準値比	-39.81%	基準値比	-36.41%	基準値比	-42.98%	基準値比	-46.15%
			9,500.0		10,036.1		9,000.0		8,500.0	
軽油使用量	ℓ	3,067.2	基準値比	111.92%	基準値比	104.23%	基準値比	95.62%	基準値比	89.10%
			6,500.0		6,264.1		6,000.0		5,800.0	
灯油使用量	ℓ	1,553	基準値比	-9.85%	基準値比	21.38%	基準値比	-16.29%	基準値比	-22.73%
			1,400		1,885		1,300		1,200	
ガス使用量 (都市ガス)	Nm ³	867	基準値比	-13.49%	基準値比	-53.17%	基準値比	-19.26%	基準値比	-30.80%
			750		406		700		600	
総排水使用量	m ³	547	基準値比	-6.76%	基準値比	-19.01%	基準値比	-10.42%	基準値比	-12.25%
			510		443		490		480	
化学物質使用量	kg	230.1	基準値比	-13.08%	基準値比	-49.11%	基準値比	-21.77%	基準値比	-26.12%
			200.0		117.1		180.0		170.0	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	24.2	基準値比	-9.09%	基準値比	-28.93%	基準値比	-13.22%	基準値比	-17.36%
			22.0		17.2		21.0		20.0	
一般廃棄物排出量	t	1.2	基準値比	-16.67%	基準値比	0.00%	基準値比	-25.00%	基準値比	-33.33%
			1.0		1.2		0.9		0.8	
省エネ・省資源型 装置の開発・改良・ 提案・販売	件	データ無し	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—
			20		4		20		20	
紙の使用量	枚	140,000	基準値比	-3.57%	基準値比	3.57%	基準値比	-5.00%	基準値比	-7.14%
			135,000		145,000		133,000		130,000	
グリーン購入量	¥	データ無し	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—
			55.0%		54.6%		57.5%		60.0%	

◆二酸化炭素排出係数: 0.464kg-CO₂/kWh(平成23年度)、但し、2016年度以降は0.50kg-CO₂/kWh(平成27年度)に変更した

◆グリーン購入量は、2013・2014年度は金額であったが、2015年認証審査より購入割合での実績に変更した

(2) 環境活動の内容

1. 二酸化炭素排出量(電気11111)の削減

- 昼食時の消灯を徹底する
- 昼食時のエアコンオフを徹底する
- トイレリフォームし、蛍光灯の節電(男女分ける)
- トイレリフォームし、節電タイプ機器の導入

2. 二酸化炭素排出量(ガソリン)の削減

- アイドリングストップを徹底する(社内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導

3. 二酸化炭素排出量(軽油)の削減

- アイドリングストップを徹底する(社内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導

4. 二酸化炭素排出量(灯油)の削減

- ウォームビズを推奨する
- ストープをつけっぱなしにしない

5. ガス消費量(都市ガス)の削減

- 夏場、給湯器の使用を控える
- 風呂場の給湯設定温度を低くする

6. 総排水量の削減

- 5月～10月の使用をシャワーにする(入浴は控える)

7. 化学物質使用量の削減

- 在庫の見直しによる購入量の抑制

8. 産業廃棄物排出量の削減

- リサイクル排出量(端材等)の再々利用する
- 収集場の廃棄物(一般・産廃)区分をはっきりとする

9.一般廃棄物排出量の削減

- アスクル梱包材の業者引き取りを継続する
- 使用済みカップ麺容器を圧縮し、廃棄をおこなう

10.省エネ・省資源型装置の開発・改良提案・販売

- 顧客提案書に環境指数による提案をおこなう

11.紙の使用量の削減

- PCやコピー等の印刷は、両面又は縮小印刷等を用いる
- 社内資料の小型化(A3からA4)
- 購買業務の見直しで社内発注書のペーパーレス化

12.グリーン購入の推進

- 一般購入品のグリーン購入への切り替えを推進する

～活動内容～



月に一度、会社周辺の清掃をしています。



紙使用量の削減に努めています。



節電に努めています。



アイドリングストップの徹底をおこなっています。



4.環境負荷の実績及び環境活動取組評価

項目	単位	基準年度	期間目標	期間実績	評価	
		2011.4～2012.3	2016.4～2017.3			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	85,863	69,500	76,030	期間目標、昨年度実績と比較し、排出量が増加した。電気、ガソリンの利用について再考していきたい。	
内 訳	電気使用量	kwh	76,293	61,000	61,377	目標に比べ若干増加した。更なる無駄がないか検討する。
	ガソリン使用量	ℓ	15,783.3	9,500.0	10,036.1	各人の意識は向上したが、業務使用が多いため、増加してしまった。
	軽油使用量	ℓ	3,067.2	6,500.0	6,264.1	各人の意識は向上し、目標達成が出来た。
	灯油使用量	ℓ	1,553	1,400	1,885	灯油ストーブの消し忘れを再度伝達し、徹底したい。
	ガス使用量 (都市ガス)	Nm ³	867	750	406	浴槽の大きさ見直しも検討し、消費量を削減したい。
総排水使用量	m ³	547	510	443	お風呂場の改造によって、排水量の削減に努めたい。	
化学物質使用量	kg	230.1	200.0	117.1	大幅な目標達成であったが、次年度も意識して削減に努めたい。	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	24.2	22.0	17.2	今後も不用品処分に努め、目標達成に努める。	
一般廃棄物排出量	t	1.2	1.0	1.2	今後も排出量の安定化に努めたい。	
省エネ・省資源型装置 の開発・改良・提案・販売	件	データ無し	20	4	提案様式の見直しも含め、目標達成出来るよう検討していく。	
紙の使用量	kg	140,000	135,000	145,000	購買のペーパーレス化は出来たが、設計資料について検討していく。	
グリーン購入	件	データ無し	55.0%	54.6%	引き続き、購入割合を増加できるように努める。	

5. 2017年度取組み内容

前項(第3項(2)環境活動の内容1.~12.)の取組みを継続する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1) 環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。
(主な環境法規等： 廃掃法・消防法・東京都環境確保条例)
- (2) 関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。
- (3) 訴訟も、過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成25年(2013年)4月から開始した環境活動も、5年目にはいりました。

昨年度実績よりも二酸化炭素排出量が増加し、課題の残る年度となりました。

課題として、電気使用量の削減があり、今後LED化も検討しなければと思います。

ガソリン・軽油使用量の削減は、業務との兼ね合いもあり、車種選定時での対応を行なっていくしかないと思います。

今後も上記課題を中心に改善を進め、二酸化炭素排出量削減に努力する所存です。

代表取締役 丸山宏樹